

人生は正解のない問いの連続 考えて、悩んで、少しずつ前へ進む。

映画鑑賞で心を育む。～「命」の尊さを噛み締めて～

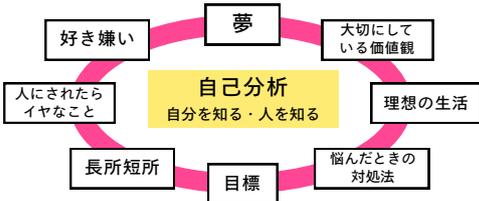


2024上海国際映画祭ノミネート作品「郷」^{こう}他にも様々な国際映画祭にノミネート&受賞された新作映画！今年ドイツ・イタリアで上映決定！

日本映画 / 93分 監督：伊地知拓郎 プロデューサー：小川夏果

日本の自然溢れる田舎町で生まれ育った少年岳（かく）が成長していく過程で経験する様々な困難と向き合い、懸命に生きる姿を描いている。《命》をテーマに日本の四季を追い、「センス・オブ・ワンダー（子どもが生まれながらに持つ不思議な感）」を成長した大人こそ持ち続け生きていくことの大切さを訴えています。

日本語音声、中国語または英語字幕付きでの上映が可能です。



台詞がほとんどない映画「郷」の世界から読み解く
自分の道しるべを見つけ出す。新しい学びの場！
令和6年 文部科学省選定映画に認定され、
「心の教育教材」として幅広く活用されています。

3部構成で「郷」の物語は進みます。



- 1【高校時代＝人間社会】主人公岳（かく）は憧れの野球部に入り、レギュラーを取るために厳しい練習や先輩の嫌がらせにも耐えながら練習に励む。
- 2【幼少時代＝自然社会】野球で挫折してしまった岳が偶然幼馴染との再会により子どものころを思い返し、セ・オ・ワグを取り戻していく。
- 3【高校転校＝命の尊さ】同級生が突然不慮の事故に遭い亡くなった。当たり前の景色が当たり前ではないこと、二度と戻ってこないことを知る。
- 【高校卒業時＝命の誕生】家庭環境に恵まれずに育った幼馴染陸（リュウ）に新しい命が誕生し、人生の喜びを共有し、岳も前を向いて歩んでいく。



誰もがいつか直面する人生の試練を疑似体験し、心を鍛える。



実際に経験し、痛みを知ることで、
本当の優しさを学んでいく。

「命の尊さ」や「人権」「いじめ問題」など、教えることが難しい人生における問題を、主人公が経験する様々な困難を通し、「いつか自分も同じような苦しみを経験するかもしれない」と、自分事のように捉え、たとえ夢がうまくいかなくても別の道があることや、苦しいときこそ「次の一歩」を踏み出せることに気付くきっかけを与えます。

なぜ今の時代に“映像”を通した心の教育が必要なのか？

人間の脳は、テキストよりも映像を60,000倍速く処理する

映像の力は先生が説明できないものや子どもたちへ伝えられないときの代弁者「命の大切さ」や「いじめ問題」は実体験で教えることは難しく、生きる上での大切なことを映画で実体験のように感じ、伝えることが可能。

たった1分間の動画が180万文字の情報量を持つ

映像を効果的に活用すれば人の心に強くメッセージが届く

様々な社会問題や将来への不安を抱える人々に寄り添い、
課題を浮き彫りにするだけでなく解決する糸口を見つけ出すことができる！

生徒が「自分と向き合う時間」を確保することの重要性「自主的な学び」が求められている中で、映画『郷』は、生徒に自らの生き方について深く考えさせ、抱えている悩みを解決させるヒントを与えることができる。

様々な映画祭にノミネート&受賞された背景には、
映画制作の新しい手法と映像美にこだわった
撮影スタイルが評価され、芸術面でも楽しめる作品！

いちち たくろう
監督 伊地知 拓郎

【制作コメント】
社会の様々なルールに則り生きている私たちが、映画の中では固定概念や先入観を捨て、頭を空っぽにして作品に浸ってもらいたいという想いから「没入感」にこだわって作りました。1998年生、鹿児島県出身、北京電影学院監督学科卒業。



【事前オンライン視聴可！】
授業導入・自主上映開催のための
予告編&本編（※有料）視聴QR

※まずは映画を観てから検討したいという方は、オンラインでの映画鑑賞が可能です（有料視聴）。左QRコードよりお手続きの上、ご視聴下さい。上映費は、人数によって変動あり。一般的に著作権料として保護者徴収お一人300～1000円を頂戴して開催。開催決定後、ディスク貸出期間は開催日翌日まで(返却予定日超過の場合、延長料金一日5,000円発生致しますのでご了承下さい。)



パート

知念小百合(50)

始良市の伊地知拓郎監督が制作した長編映画「郷(ごう)」を、霧島市であった上映会で観賞した。高校野球で挫折した球児が再起していく姿が描かれている。心が洗われるようだった。

生きていく上で、しがらみや心の支えになるものがある。競争や童心、無常、流転。そんなテーマに沿って映画は展開されていた。

映画「郷」に生き方を教わった

予測困難な時代に感じる生きづらさは、あらゆる世代に共通する思いかもしれない。「自然と共に生きていく」。伊地知監督の舞台あいさつを忘れないように日々を過ごした(始良市)

にある自然の包容力を感じた。万物流転の中でもその一瞬一瞬を大事にして感性を失わず、生きる力にしたい。失敗や挫折を経験や方向転換と捉えたい。自分なりに納得できる人生の解を見いだせたらいい。映画を見て生き方を教わった気がした。一緒に見た娘もそうであってほしいと思う。

「郷 ～僕らの道しるべ～」を鑑賞して

3年(1)組(7)番 氏名()

正直、セリフが少なく、音や風景から感情などを読み取ることが今の僕では、難しかった。しかし、これから色々な経験を重ねていく中で20才、30才、40才と年齢が上がるとともに、見た感じがまったく別のものになると思っている。だから、今、この時期にこの作品を知ることができたこと、そしてまた大人になってから見たいと思えたこと、とてもよかったです。これから生きていく上で自分の郷を大切にしていきたい。新たな地にも足を踏み入れていきたい。

中学生 感想文



文部科学省



マナビィ・メールマガジン第329号(令和7年3月24日配信)

◆文部科学省選定映画「郷(ごう)」を活用した学習活動等のご紹介

この映画は「命」をテーマに、四季を追い自然の移り行く様と万物の流転が描かれており、この瞬間の尊さを感じながら自己理解と他者理解を深める時間をあたえてくれる作品となっています。人生の選択を考え始める青少年にヒントを与え心の成長の手助けとなる学習教材としての活用や教職員を対象とした研修及び社会福祉施設における上映会などにおいても、幅広く活用されています。

【活用事例】

HP: <https://letheany.com/service/film-education/gou/>

□お問合せ先

Letheany & Co.(レシアニー)教育事業部

電話:0995-70-1622

E-mail: info@letheany.com

□文部科学省窓口

総合教育政策局地域学習推進課 地域学習推進係

E-mail: chisui@mext.go.jp

◆2024年11月掲載 南日本新聞

鹿児島から世界を目指す映画「ロテューサー」

小川 夏果さん

かお

鹿児島市出身の映画監督、伊地知拓郎さん(26)の初の長編作品「郷」(僕らの道しるべ)でプロデューサーを務めた。「資金集め、スタッフの確保、キャストینگ、ロケハン、撮影スケジュール管理、編集チェック...撮影の時は運転手もやって、何でも屋ですね」とほほ笑む。2011年から10年まで俳優として多くの映画やドラマ、CMに出演。「映画や演技をもっと学びたい」と留学した中国の北京電影学院で、伊地知監督と出会い、映画を見てその才能に驚いた。「ここまで洗練され、計算された作品を見たことがな



中国重慶市で15日まで開かれた映画祭「35mm批評家週間」(中国映画評論学会主催)で始良市の映画監督、伊地知拓郎さん(26)の長編第1作「郷」が最高賞の「最優秀批評家賞」を受賞した。「評価してくれた皆さんに感謝したい」と喜んでいる。

同映画祭は、中国の若手監督や新進気鋭の映画を紹介、評価する

伊地知監督(始良)映画「郷」

中国最優秀批評家賞

目的で今年創設された。「郷」はオール鹿児島ロケで、高校野球で挫折した少年の再生を美しい自然とともに描く。「感覚的、哲学的で、没入することを求める素晴らしい作品」と評価された。「郷」は今年6月にあった上海国際映画祭アジア新人部門のノミネット作品。伊地知監督は北京電影学院監督学科卒。本紙コラム「南点」を執筆している。(豊島浩一)

(豊島浩一)



かった。タッグを組んで20年12月からオール鹿児島ロケの「郷」の撮影を始めた。高校の野球部員が主人公。元球児の伊地知監督は丸刈りの球児の出演にこだわった。あちこち内球児の出演にこだわった。「郷」は撮影に1年、編集に2年費やして今年2月ようやく完成した。文部科学省選定映画になり、県内学校などで上映会予定が相次ぐ。中国や米国の公開も視野に国際映画祭に出品中。反応は上々らしく、「鹿児島から世界と戦えることを示していきたい」と意気込む。熊本市生まれ、関西育ち。「ほどよく自然があって住み心地がいい」始良市の海の近くに昨年移住した36歳。(豊島浩一)

【2024年 実施場所】開陽高校(通信・全日)、種子島高校(1年生)、加治木中(3年生)、鶴翔高校(全校生徒+保護者)、長田中(全校生徒・保護者)・志學館初等部(1年生)・情報高校(全校生徒)、溝辺公民館、始良市商工会主催加音ホール、障害者施設ハートピア鹿児島、鹿児島県主催、川商ホールなど

【2025年 開催予定】加治木中(3年生)、蒲生中(2年生)、鹿児島南高校(全校生徒)、れいめい中(調整中)、綾南中(全校生徒)、福山高校(全校生徒)など

鹿児島県内 観客動員数1万人突破!